



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

令和7年6月27日(金)

実践！オンサイト製炭

～秋の黒松剪定枝を炭にしました～ 編

昨年秋に続き*，黒松の剪定枝葉を製炭しました。費用をかけ廃棄物として燃やしてしまっているものを木炭にして有効利用し，地球温暖化対策にも貢献できないか？令和4年から始めたのしろ白神ネットワーク(以下，NW)の取り組みです。炭材は昨年10月に開催された能代バイパス黒松友の会の剪定会**で生じた剪定枝葉です。

雨天で1日延期となったこの日，午前中に降っていた雨は予報通りあがり，心配された風も弱く，ほどよい曇空。今年のNWイベントは本当についています！これも関係者のみなさんの日ごろの行いの良さです。一般参加の方がお一人だったのは残念でしたが，総勢11人で汗を流しました。

10時過ぎに1台のステンレス製簡易製炭器の組み立て，製炭作業を進めていましたが，初めての方に分かっていただけよう13時半からもう1台の製炭器の組み立て，種火を作って製炭を開始しました。

冬を越した剪定枝葉は良く乾燥していて，勢い良く炎が上がります。曇空で気温もそう高くなかったものの，間近で炙られていると汗だくです。燃えすぎないように注意をしながら，全ての剪定枝葉を投入しました。炭化を見届けたら，水をかけて消火します。水蒸気が一気にたちこめ，辺りは真っ白になりますが，ひるまずに水をかけ続け，製炭器内をかき混ぜていると黒い炭が見えてきます。完全消火を見届けて，16時に終了しました。

この日，土のう12袋分の木炭ができました。木高研の栗本先生の計算によれば，42kgの二酸化炭素を固定したことになります。活用先はこれからですが，春の剪定会で生じた剪定枝葉も秋まで乾燥させ，また製炭することにしています。みなさん，大変お疲れ様でした。

文：渡辺 千明

*令和6年10月17日，**令和6年10月20日の活動レポート参照



昨年秋から6ヶ月間自然乾燥してきました(上)。秋には強剪定はしないため全体に枝は少なく感じました(下)。



完全に燃えてしまわないように気をつけながら，剪定枝葉を投入していきます。能代河川国道事務所からは成田さん，高橋さん，出川さんばかりか，仙台からの帰り道に差し入れを持って勝長さんもおいで下さいました。研究所の3人の若手は初めての炭焼きを楽しんでいました。



今後に向けてホットケーキミックスを使ったバームクーヘン作りにも挑戦しました。YouTubeで見るとは易し行なうは難しで，何度か練習が必要そうです(上)。水をかけて冷ましたら完成です。松葉や枝は形を残して炭になっています(下)。